

ホテル ヴィブランチ オタル

- 物件名：ホテル ヴィブランチ オタル
- 住所：色内1-3-1
- 電話：31-3939
- 所有者：株式会社杉本運輸
- 運営者：杉本扶美枝
- 主任と人員：7人
- 建物履歴：
- 大正12年 北海道拓殖銀行小樽支店
国会議事堂設計の矢橋賢吉設計
- 大正13年 小林多喜二入行
- 昭和44年 北海道拓殖銀行小樽支店移転の為 閉鎖
- 平成元年 小樽ホテルとして開業
- 平成3年 小樽市歴史的建造物指定
- 平成7年 ペテルブルグ美術館として開業
- 平成8年 小樽市都市景観賞受賞
- 平成14年 ホテル1-2-3小樽として開業
- 平成18年 ホテルヴィブランチオタルと改称



外観

■外観

- ①外壁タイル
5年に一度は足場で覆い総チェックと同時に修復している。
- ②屋上庇
通路にバリケードを設置し雪庇を落としている。

■内観

- ①デザイン大事に
香港在住のイギリス人ナイジェル・コーツ設計のデザインを活かしている。イギリスから直送した家具調度品も交換が困難であることから、その時のものを大事に使用。
- ②古典的な大柱と回廊
古典的な大柱と回廊がいかにも銀行建築らしい重厚さを醸しており、ロビーに入られたお客様はみな驚く。
- ③段差は人の手でカバー
ハードは原形をできるだけ保つために、段差とバリアフリーのギャップはスタッフの心得として援護することを徹底。
- ④各階に銀行時の図面展示
お客様が泊まっている部屋は、例えばかつて会議室だったなどのエピソードを提供。
- ⑤大金庫室
かつての金庫室もお部屋として再利用。

■内容

小樽の発展を象徴する銀行建築で、小樽を代表する文学者小林多喜二に縁があり、小樽観光の一等地に建つホテルで、多くのお客様をお迎えできるのはこのうえない幸せ。

■コンセプト

格式のある建物のホテルではあるが、できるだけ多くをお迎えできるように安価であることを基本とする。【杉本扶美枝】

■客層

幅広い層にご利用いただいている。リピーターが増えてくれることに感謝している。



アーチ構造の正面玄関



とっておきの金庫室



銀行の設計図面



重厚な階段



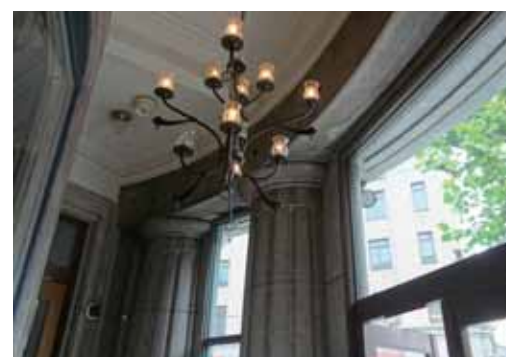
正面玄関内側



花飾りも欠かさない



壮麗なロビー



重厚さの中のシャンデリア